

水コン協<「水コンサルタント」になろう>

公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会

「水コンサルタント」になろう

公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会を迎来了。水コン協は、発足以「水(みず)コンサルタント」会社という社からなる協会です。水コン協は、昭和56年に発足し、平成30年に公益社団法人として認定を受けました。水コン協は、発足以「水(みず)コンサルタント」会社という社からなる協会です。水コン協は、昭和56年に発足し、平成30年に公益社団法人として認定を受けました。水コン協は、発足以「水(みず)コンサルタント」会社という社からなる協会です。水コン協は、昭和56年に発足し、平成30年に公益社団法人として認定を受けました。

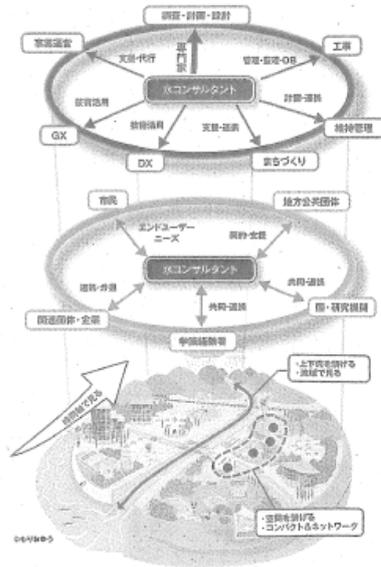


図-1 水インフラマネジメントへの水コンサルタントの関わり

1、技術の継承を通して地域・都市を豊かに  
自治体の専門職員が減る中で、上下水道システムの改善更新をはじめ、災害復旧対応も含め、継続的に地域に関わる専門家として、コア技術を継承しつつ上下水道システムの調査・計画・設計に携わる

2、多様な官民連携協働の実践  
今後拡大する多様な官民連携手法による水インフラ事業の運営において、調査・設計・事業統括で中心的役割を果たす

3、技術開発の推進  
AIを含むデジタル社会の急速な発展に伴い、業務のやり方や効率化を進めます。

「水コンサルタント」の特色と魅力をピックアップすると、次の通りです。

▽上下水道事業のあらゆる場面、すなわち、上下水道施設(管路や処理場)の調査・構想・計画・設計・建設・維持管理の各場面で活躍しています。(図-1参照)

▽2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロに向け、グリーン(環境)ビジネスの代表成長産業、業績の伸び大きい。(図-2参照)

▽水と環境を守るといふ強い社会的使命を担う。水は、人間が生きていくうえで必須の最も重要なもの。

▽上下水道・環境保全の仕事の中でも、「構想・計画」を主に担う「上流部」の仕事。

▽一方で、上下水道・環境保全のあらゆる場面で活躍し、業務の全体像を俯瞰し、コーディネーターする仕事。(図-1参照)

▽地域・都市の住民に寄り添い、地域の発展に貢献する仕事。

▽ドローン・ロボティクス・AI・IoT・バイオテクノロジー等の革新的技術が、上下水道分野で次々と創出されており、技術革新面でも注目の分野。

▽世界の発展途上国の上下水道整備は、まだ緒についたばかりの国も多く、海外展開のポテンシャルは非常に大きい分野。

▽21世紀は水の世紀、水の争奪戦の世紀といわれている。今後、最も重要な資源は「水」になる可能性がある。水コン協も、傘下の会員とともに培ってきた技術力・人的資源を生かしつつ、上下水道の発展に寄与してまいります。

こころした特色と魅力を有する「水コンサルタント」を目指しませんか。みなさん、お待ちしております。

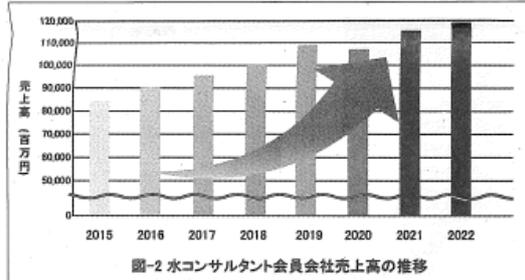


図-2 水コンサルタント会員会社売上高の推移